

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第2学年

No.1

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評価			他学年との系統性	
						①	②	③		
4	3	3	4	<A>曲にふさわしい発声で歌おう ○生命が羽ばたくとき ・語り合おう	歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。 旋律のまとまりを捉えて、音域に応じた発声で歌おう。 旋律のまとまりや反復を生かして、表現を工夫しよう。	イ	ア		①パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小5・6 ・花のおくりもの ・バハナ ・ロックマイソウル 中1 ・希望という名の花を ・飛び立とう君の空へ ・あの丘の向こうから 中3 ・旅立ちの日に ・時を越えて ・故郷
5	1	1								
5	3	3	2	サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう ○誰も知らない私の悩み ・レヴェルブレイン ・オーラ・リー	曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、サミングや息のコントロールなどの技能を身に付けたりしながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	イ	ア		①曲想と音楽の構造との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。 ②器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(息のコントロールやサミングなど)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。 ③器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小3・4 ・こんにちはリコーダー ・旋律の感じを生かしてリコーダーで歌おう ・パートの役割を生かして演奏しよう(せいじゃの行進) ・サミングに挑戦しよう 小5・6 ・かけ合いや重なりを生かして演奏しよう(星笛) ・旋律や響きの変化を捉えて演奏しよう(マルセリーノの歌) 中1 ・リズム de ゴー ・しりとり歌、メリーさんの羊 ・喜びの歌、オーラリー ・うみ、アメージンググレイス ソング・ソング・ソング、ソナタ

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第2学年

No.2

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性
						①	②	③	
6	3	3	3	リズムパターンをつくろう ○八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作	リズムの組み合わせや反復を工夫して、リズムパターンをつくろう。音符のつなげ方によるリズムの違いを理解して、つなげる音符を選ぼう。	イ	ア	①リズムの反復や組み合わせによるリズムパターンの特徴を理解している。条件に沿って8分音符をつなげる技能を身に付けている。 ②創作表現に関わる知識(リズムの反復や変化などによるリズムパターンの特徴)や技能(条件に沿って8分音符をつなげたり組み合わせたりする技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 ③創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ねこの鳴き声で遊ぼう ・星の音楽をつくろう ・どんな音が聞こえるかな 小3・4 ・いろいろな声で表現して遊ぼう ・音の響きや組み合わせを楽しもう 小5・6 ・いろいろな声で音楽を作ろう ・ずれの音楽を楽しもう ・循環コードをもとにアドリブで遊ぼう 中1 ・全体の構成を考えながら音楽をつくろう 中3 ・CMソングをつくろう
6 7	1 2	1 2	3	<C>曲の構成のよさや面白さを味わいながら鑑賞しよう ○ボレロ ・火星	曲想と曲全体の構成を関わらせながら鑑賞しよう。 リズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取ろう。	イ	ア	①曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについて理解している。 ②鑑賞に関わる知識(曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わり)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・こうしんきょく ・おもちゃのへいたい ・しゅっぱつ ・ウィーンの音楽時計 小3・4 ・組曲「アルルの女」から ・ピーターとおおかみ ・ノルウェー舞曲第2番 小5・6 ・組曲「カレリア」から ・ピアノ五重奏曲「ます」 ・ハンガリー舞曲第5番 ・交響曲第5番「運命」 ・ラブソディーインブルー 中1 ・「春」第1楽章 中3 ・ブルタバ

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第2学年

No.3

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性
						①	②	③	
7	1	1	1	声部の役割を生かして ・校内合唱コンクール 発表曲 (学級自由曲) (全校合唱曲)	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、音楽の構成を生かした表現を工夫しよう	イ ウ	ア	①曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造と関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小3・4 ・ドレミの歌 ・この山光る ・エーデルワイス ・ゆかいに歩けば
8	2	2	2						小5・6 ・夢色シンフォニー ・君をのせて ・大切なもの ・明日を信じて
9	4	4	4						
10	1	1	1						
10	2	2	2	<D>曲の形式を生かして歌おう ○浜辺の歌 ・早春賦	曲想を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。 曲想と形式との関わりを理解して、強弱や音域に応じた声で歌おう。	イ ウ	ア	①曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1 ・うみ、かたつむり、日のまる ひらいたひらいた 小2 ・かくれんぼ、春がきた、虫のこえ、夕やけこやけ 小3 ・うさぎ、茶つき、春の小川 ふじ山 小4 ・さくらさくら、とんび、まきばの朝、もみじ 小5 ・こいのぼり、子もり歌、スキーの歌、冬げしき 小6 ・越天楽今様、おぼろ月夜 ふるさと、われは海の子 中1 ・夏の思い出、赤とんぼ 中3 ・花、荒城の月

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第2学年

No.4

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
10	1	1	1	箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう ○荒城の月	曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、押し手の奏法を身につけたりしながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。	イ	ア		①曲想と音楽の構造との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付けている。 ②器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(右手の使い方や押し手など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。 ③器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小4 ・ことで「さくらさくら」にチャレンジしよう 中1 ・親指による基本的な奏法(さくらさくら)
11	1	1	1							
11	3	3	3	<E>平調子の特徴を生かして音楽をつくろう ○平調子を活用する音楽づくり	旋律のつながり方を工夫して、まとまりのある音楽をつくろう。平調子の響きや旋律のまとまりを捉えてリズムを選ぼう。	イ	ア		①平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解している。課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能を身に付けている。 ②創作表現に関わる知識(平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴)や技能(課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 ③創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ことばのリズムであそぼう ・音の重なりやリズムを選んで合わせよう ・おまつりの音楽をつくろう ・みんなの音楽時計をつくろう 小3・4 ・チャチャチャのリズムで遊ぼう ・音の動き方を生かして旋律をつくろう ・音階をもとにして音楽をつくろう ・役割をもとに音楽をつくろう 小5・6 ・和音に合わせて旋律をつくろう ・動機をもとに音楽をつくろう ・役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう 中1 ・日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう 中3 ・言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第2学年

No.5

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
12	2	2	2	<F>オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう ○交響曲第5番八短調 ・小フーガト短調	曲想と音楽の構成を関わらせて味わいながら鑑賞しよう。ソナタ形式やフーガなどによる曲の構成を聞き取ろう。フーガの形式を聞き取ってみよう。	イ	ア		①曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わりについて理解している。 ②鑑賞に関わる知識(曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わり)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・こうしんきょく ・おもちゃのへいたい ・しゅっぱつ ・ウィーンの音楽時計 小3・4 ・組曲「アルルの女」から ・ピーターとおおかみ ・ノルウェー舞曲第2番 小5・6 ・組曲「カレリア」から ・ピアノ五重奏曲「ます」 ・ハンガリー舞曲第5番 ・交響曲第5番「運命」 ・ラブソディーインブルー 中1 ・「春」第1楽章 中3 ・ブルタバ
12	1	1	3	<H>雅楽の多様な表現を鑑賞しよう ○雅楽「越天楽」 ・舞楽「左舞・右舞」	さまざまな雅楽の共通点や相違点を考えながら鑑賞しよう。雅楽の背景を理解して表現の特徴を聞き取ろう。舞楽の表現の特徴を聞き取ってみよう。	イ	ア		①雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わりについて理解している。 ②鑑賞に関わる知識(雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わり)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ながうた「むしの声」 小3・4 ・さくら変奏曲 小5・6 ・長唄「越後獅子」から ・春の海 ・雅楽の演奏/三曲合奏 中1 ・箏曲「六段の調」 ・尺八曲「鹿の遠音」 中3 ・歌舞伎「勧進帳」 ・文楽「義経千本桜」

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第2学年

No.6

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
2	2		3	<1> 曲想を味わいながら合わせて歌おう ○そよぐ風の中で ・旅立ちの日に ・在校生式歌	全体の響きを味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。曲想と曲全体の構成との関わりを理解して、他の声部を聴き取りながら歌おう。	イ	ア	ウ	①曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小5・6 ・花のおくりもの ・バハナ ・ロックマイソウル 中1 ・希望という名の花を ・飛び立とう君の空へ ・あの丘の向こうから 中3 ・旅立ちの日に ・時を越えて ・故郷
3	2									